

◇農業用水の管理

農業用水がうまく流れるように、農家の人たちは、水を調整したり、水路の草刈りや土砂さらい、ゴミひろいなどの管理をしています。たくさんの水を流すような大きな水路になると管理が大変になるため、農家の人たちでつくる土地改良区や水利組合、あるいは集落などで管理をしています。

また、渇水の時には、農家の人は水路の見回りや番水、農業用水の反復利用などをして、水を節約して使っています。

このように農業用水は、農家の人たちが管理してきましたが、農家人口の減少や高齢化などにより管理が大変になってきています。

農業用水は、農業に利用されるだけでなく、地域の生活の中で様々な役割を果たしていることから、これからは地域の水を守るため、住民の手助けが必要となってきています。

【ここでQ&A】

「渇水」ってなに？

雨が少ししか降らなくて川の水が少なくなると、川の水を十分使えなくなります。そのために、ダムなどを造っていますが、ダムの水も足りなくなる時があります。これが「渇水」です。

「番水」ってなに？

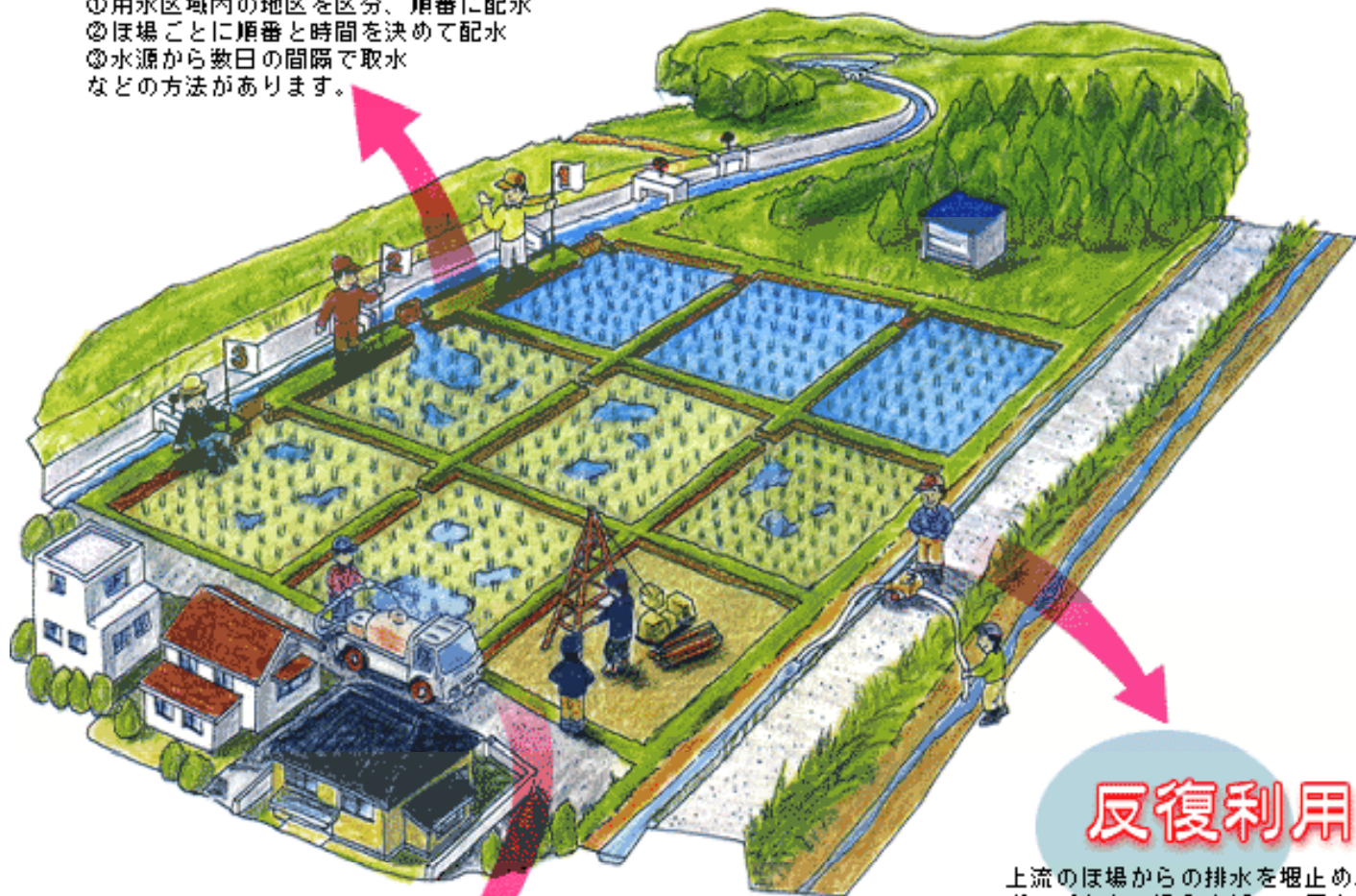
渇水の時に、少ない水をそれぞれの水田に平等に分け合うために、昔の人が作り出した知恵です。水田毎に、順番（日にち、時間など）を決めて水田に水を入れて行きます。

「反復利用」ってなに？

水田を通った水は、排水路に落ちますが、それを溜めてポンプで汲み上げ、再び用水に使うように、一度使った水を繰り返して使うことです。

番水

節水のための配水管理です。
①用水区域内の地区を区分、順番に配水
②ほ場ごとに順番と時間を決めて配水
③水源から数日の間隔で取水
などの方法があります。



反復利用

上流のほ場からの排水を堰止め、ポンプなどで汲み上げて、用水を再利用します。

用水補給

番水対策や反復利用を行っても用水が不足する場合は、応急の井戸を掘削し地下水を利用したり、通常は利用しないダム、ため池の底水や他の利水者からの貰い水を受けたりします。



(佐野市村上)